

平成28年度 市民活動助成事業 審査結果

■平成28年度 市民活動助成事業（スタート助成）

| 優先順位 | 事業名 | 団体名 | 採択の適否 | 助成金額(円) | 付帯意見又は理由 |
|------|-----------------------|------------------|-------|---------|---|
| 1 | 「カレーを食べる会」事業 | 五番街ふれあいセンター | 適 | 100,000 | — |
| 2 | 「認知症に備える」為の啓発活動事業 | 介護・認知症の家族と歩む会・松戸 | 適 | 100,000 | — |
| 3 | 健全児・障がい児ミックス型共育を楽しむ事業 | 共育ステーション 地球の家 | 適 | 90,000 | — |
| 4 | 子どもと高齢者の交流事業 | 子どもの未来を考える会 | 適 | 37,000 | 【付帯意見】 イベント開催の準備段階から、高齢者がボランティアとして主体的に関われるような計画にしてほしい。一方が一方を面倒見るといような関係性ではなく、子どもと高齢者が対等に一緒に楽しむ場を提供してほしい。また、近隣の学校の先生とも連携しながら、事業を進めてほしい。 |

| | | | | | |
|---|----------------------------|-----------------------------|---|---------|--|
| 5 | 公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業 | 都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会 | 適 | 100,000 | 【付帯意見】 公共サインという地域課題の捉え方は評価できることから、この事業の成果が次に繋がるよう、市の関係課と目的意識の共有を図りながら、連携して実施してほしい。また、研究室の中で留まることなく、多くの市民を巻き込みながら、この活動を展開し、今後の展望を明確にしてほしい。 |
| 6 | 認知症を吹き飛ばせ！健康寿命を延ばそう事業 | しゃぼん玉倶楽部 | 適 | 100,000 | 【付帯意見】 町会・自治会、民生委員等と連携し、事業の趣旨と内容を理解してもらうことが、事業の成功に繋がると思われるため、更に地域とのつながりを強めながら、事業を進めてほしい。 |
| 7 | 医療・介護・福祉を学ぶ会事業 | 千葉県 東葛介護・福祉塾 | 適 | 100,000 | 【付帯意見】 他職種連携をキーワードにして他団体との関係を深め、連携の成果が見えるように事業を展開してほしい。 |
| — | 「かやぶき屋敷でのんびり過ごそう」事業 | 日本文化に親しむ会 且座 | 否 | 100,000 | 【不採択理由】 市の地域資源である古民家を活用していることは評価できるが、高齢者がどのように関わるかが不明確であり、今までの活動に比べて新たな発想や工夫が見えないため。 【付帯意見】 広く市民への広報を図り、また、今後、外国人観光客や住民が増えることが想定されるので、外国人へこの取組みの趣旨が伝わる工夫をしながら、活動を継続してほしい。 |
| — | なかよしふうふを目指す子供たちを増やす事業 | 理想の家族形成を支援するFamily 1st 松戸支部 | 否 | 100,000 | 【不採択理由】 少子化、晩婚化、生涯未婚率や離婚率の増加を、現在の日本社会が抱える課題と捉えたことは、評価できる。しかし、その背景には、様々な家庭の事情があり、一人親の子ども等への配慮を考えると、学校を介しての子供たちへのアプローチ方法は難しく、また、子どもに働きかけることが、課題の解決に繋がるのか、その効果が不明瞭であるため。 |

| | | | | | |
|---|----------------------|---------------------------|---|---------|---|
| — | 「この街にもっといただきますを」事業 | 特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター | 否 | 99,000 | <p>【不採択理由】 「個食」、「孤食」という課題の捉え方は評価できるが、本事業の対象者が不明確である等、内容が具体性に欠け、また、背景に家庭、親の事情があることを考えると、課題解決に繋がる成果が期待できないため。</p> <p>【付帯意見】 今年度立ち上げた子ども食堂の実績を踏まえ、この問題に取り組んでほしい。</p> |
| — | 松戸市サイクルツーリズムプランの検討事業 | 都市環境デザイン学研究室 サイクルツーリズム研究会 | 否 | 100,000 | <p>【不採択理由】 これからの都市交通、市民生活に重要な位置付けである自転車という着眼点は良いが、なぜ坂の多い松戸市で自転車なのか、誰のための事業であるのか、検討結果をどう活かしていくのかが不明確であるため。</p> <p>【付帯意見】 松戸市における自転車の位置付けを再検討し、利用者からの視点だけでなく、歩行者から見た自転車に乗る人のマナー等、幅広い視点を持ってほしい。自転車道の整備等のハード面については、行政の業務に関わることから、市の関係課と十分に、協議を重ねてほしい。</p> |

■平成28年度 市民活動助成事業（ステップアップ助成）

| 優先順位 | 事業名 | 団体名 | 採択の適否 | 助成金額(円) | 付帯意見又は理由 |
|------|-----------|----------|-------|---------|----------|
| 1 | 河原塚史編纂委員会 | 河原塚史編纂事業 | 適 | 300,000 | — |

| | | | | | |
|---|--|-------------------------|---|---------|---|
| 2 | 「高校進学のための学力アップ教室」事業 | 認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 | 適 | 300,000 | — |
| 3 | 地域連携による成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業 | 認定NPO法人 東葛市民後見人の会 | 適 | 300,000 | — |
| — | けん玉で楽しい街づくり事業 | 昔のあそびと遊ぼう会 | 否 | 207,000 | <p>【不採択理由】 過去の協働事業、市民活動助成事業等の実績から、けん玉を通して地域コミュニティの形成に貢献してきた成果は評価できるものの、ステップアップする部分について既存の事業の改善という観点から考えると、自立に向けた取組みを検討することが望ましく、助成の必要性が高いとは言い難いため。</p> <p>【付帯意見】 けん玉に捉われず、本来の昔あそび全般を通じた「顔の見える関係づくり」に取り組んでほしい。</p> |
| — | 伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験part3～松戸市民による松戸市民のためのハザードマップ創り～事業 | 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト | 否 | 300,000 | <p>【不採択理由】 課題の捉え方は評価できる。モデルとして1町会のハザードマップをつくるには、町会・自治会等の地域との連携が必要であるが、地域との関係性、地域の選定方法及び作成したマップを地域へ配布する等の成果のフィードバック、活用方法が不明瞭であったため。</p> |
| — | 0歳からの子育て支援・健康生きがいがづくり事業 | 特定非営利活動法人感声アイモ | 否 | 300,000 | <p>【不採択理由】 鎌ヶ谷市等での実績、経験は認めるところであるが、同様のボイストレーニングが、松戸市においても、母親（父親）の子育て支援及び高齢者の生きがいがづくりに繋がるかについて、市民・当事者のニーズを把握、検討しておらず、効果が明確でなかったため。</p> |